



Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

よりよい会員サービスに向けて

地盤工学会関東支部 副支部長
瀬古一郎 (会員サービス担当)

関東支部の副支部長兼会員サービス担当を仰せつかりました。微力ではありますが、地盤工学会の発展に尽くしていきたいと存じますので、何卒よろしくお願ひいたします。

関東支部が5月に発足し、関東在住の会員にとっては気軽に行ける学会への通用口ができたような気がしております。すばらしい新会館もオープンし、フレッシュな気分で官学民ともに地域の地盤に密着した密度の濃い活動を行う素地が整いました。公共事業は一服の感がありますが、建設工事だけでなく国土の防災や地盤環境・自然環境、コミュニティ形成などの幅広い問題に対して、学会の役割はさらに重要になってくると思われまます。

アフター5などのサービスを継続し、現場見学や技術者交流などについては地域サービスグループ他とのタイアップ、新企画の検討など、支部会員皆様の満足度向上と規模拡大に取り組んでいきたいと思ひます。今後ともご指導ご鞭撻、ご協力の程をお願い申し上げます。



関東支部群馬グループ第一回会合報告

地域活動グループ・群馬グループ幹事
田尻要(群馬高専環境都市工学科)

関東支部群馬グループの第一回目となる会合が、平成16年8月9日(月)18時から前橋工科大学大学院棟(前橋市)において開催され、約50名の参加があった。

会合の最初に、関東支部幹事長の岸田隆夫様(東亜建設工業(株)技術研究所長)より、関東支部の概要とともに、関東支部長である石原研而先生(中央大学特任教授)の紹介があった。引き続き、石原先生より、関東支部設立の経緯や現在の活動ならびに今後への期待などについて挨拶があった。

群馬グループからは、関東支部評議員の川西寛様(群馬県理事・県土整備局長)より、群馬県の基盤整備を進めるにあたって、関東支部および群馬グループに対する期待が述べられた。それを受けて、関東支部評議員の鵜飼恵三先生(群馬大学教授)より、群馬グループ設立の経緯や今後の活動目標について説明と提案があった。群馬県においては、生活・工業・農業用水を地下水に大きく賦存していることから、平野部における地盤沈下問題や中山間部における地下水の水質問題など、これら課題の解決には地盤の詳細な把握が必要であるものの、現在のところ地盤情報の整理は必ずしも充分ではないと言われている。このような状況を鑑み、群馬グループの具体的なアクションとして、群馬県においても地盤情報のデータベース化を進めることで、上述のような諸問題の解決に供していくことが提案された。

続いて、石原研而先生より斜面崩壊に関する特別講話があった。地すべりや土石流の具体的事例や発生メカニズムの解説などが話され、参加者は斜面災害への取り組みについて、地盤工学に携わる技術者の社会的使命をあらためて認識した。

会合の終了後、19時30分より前橋工科大学学生会館へ会場を移し意見交換会が開催された。鵜飼恵三先生の開会挨拶に引き続き、群馬グループ幹事の樋口邦弘様(株)黒岩測量設計事務所)より乾杯の発

声の後懇談へと進行した。懇談では参加者同士の紹介にとどまらず、貴重な情報交換が多くなされ、予定していた1時間は瞬間に過ぎ、最後に群馬グループ幹事の小山田吉孝様(地域計画(株))の閉会挨拶で意見交換会を終了した。

群馬グループでは参加幹事を増強し、地域に貢献できる活動を精力的に行っていく予定です。ご興味のある方は、会員・非会員に関わらず、ご参加をお待ち申し上げております。

最後になりましたが、第一回会合の会場設営にご尽力くださいました群馬グループ幹事の土倉泰先生(前橋工科大学助教授)に深謝申し上げます。また、会合ならびに意見交換会の司会は、田尻要(群馬高専)が拝命いただきましたが、お聞き苦しい点など多々ありましたことをお詫び申し上げます。

会員のためのサービス向上にむけて

会員サービスグループリーダー幹事
橋爪秀夫(株ジオデザイン)

会員サービスグループでは、会員に対する身近なサービスを提供するため、いくつかの企画を立案・実施しています。主な企画としては、“現場見学会”、“原位置試験講習会”、“アフター5談話会”などです。“現場見学会”では、東京近県の現場を抽出し、参加者に最新の施工方法などの技術情報を身近に感じていただくことができるようにしています。原位置試験講習会では、日頃の実務では机上のデータのみしか触れることができない会員に対して、参加者が実際に原位置試験を見学・体験することで、原位置試験の内容を習得していただけるようにしています。そしてアフター5談話会では、地盤と基礎に関連したトピックスを提案し、これについて実績のある講師に話題を提供してもらっています。この談話会の最大の特徴は、アフター5ということで開催時間を17時以降に設定し、参加者はビールを飲みながら講演を聴講できるということです。もちろん講演される方も飲みながらできますので一般の講習会に比べて講演者・参加者ともに肩の凝らない行事となっています。最近では、9/22(水)18:00~19:30の時間枠で太田地盤工学会長に『維持・管理および更新のための計測・解析技術』という話題で人肌脱いでいただきました。参加者は50名を数え、講演の後の質問も太田会長が少し困ってしまうくらい活発に行われました。談話会後の雑話会にも産・官・学を問わず多くの方に参加いただき盛況にして幕を閉じました。

最後になりますが、地盤工学会の会員で良かった、会費分のメリットがあった、と思われるようなサービスを提供していきたいと考えています。実施して欲しい企画などありましたら関東支部までご連絡ください。

幹事メンバー：青山要(住友大阪セメント(株))、伊東広敏(日本技術開発(株))、大竹勉(基礎地盤コンサルタンツ(株))、佐藤博(東京電力(株))、高見之孝(中央工営(株))、谷和夫(横浜国立大学)、野津光夫(不動建設(株))、古川毅(株)日本構造橋梁研究所)



第25回アフター5談話会(太田会長)



談話会後の雑話会

千葉グル - プ平成16年度基調講演会「千葉県の基盤整備について」

関東支部評議員
畑中宗憲（千葉工業大学）

本年5月の関東支部の発足に伴い、千葉県グル - プも地域に密着した活動について、評議員及び幹事による協議を重ねて、最初のイベントとして、9 / 15に千葉市の「菜の花プラザ」にて、「千葉県の基盤整備について」と題する基調講演会を千葉県県土整備部副技監兼技術情報室長佐久間博機氏を講師に迎えて、盛大に行われました。講演会には 全国地質調査業協会連合会、 関東地質調査業協会千葉県支部、 千葉県地質調査業協会及び（社）日本土木工業協会の各機関の共催と日刊建設新聞の後援を得たことが成功した大きな原動力であると考えております。

講演会には建設業関係者34名、地盤調査業関係者48名など合計93名の参加をいただき、地盤関連技術者の関心の高さを示すと共に、今後の会員増強のきっかけになればと思います。講演会では小宮幹事の司会の元に、筆者による関東支部設立の経緯についての説明ののち、長い間千葉県の河川行政に第1線で活躍されてきた佐久間氏から環境に配慮した河川業務の難しさなどについて、ときには笑いを誘いながら大変興味深い話をいただきました。引き続き開催された懇親会では中村評議員の軽妙な司会のもと、石原支部長の乾杯の音頭に続き、山崎副幹事長から配布した関東支部関連資料の説明、及び瀬古副支部長の挨拶の後、参加者達が食事とお酒をいただきながら、お互いに親交を暖める歓談が予定を越えて、約2時間続きました。最後は筆者が千葉グル - プの評議員と幹事を紹介し、併せて、参加者の皆さんに関東支部への一層のご支援とご協力をお願いして、散会した。



佐久間氏による基調講演



参加者達が真剣に講演を聞く



懇親会での石原支部長の乾杯の音頭



懇親会での参加者達の歓談

関東支部発足記念講演会の報告

平成 16 年 9 月 24 日に表記講演会を約 60 名の参加者を得て開催した。講演会では、石原支部長の挨拶に続き、副支部長の三木博史氏（土木研究所）の「地盤改良・土壌汚染対策の動向と新技術」、幹事の古関潤一氏（東京大学）の「地中埋設管の地震時浮き上がり挙動と対策」の 2 つの記念講演を行い、幹事長の岸田隆夫氏（東亜建設工業）から支部活動の紹介があった。その後、懇親会を行い参加者の方から支部活動に関する意見や要望を多数聞くことが出来た。



石原支部長挨拶



講演状況

【行事報告】

- 第 24 回アター-5 談話会「継続教育プログラム 技術士試験準備講座」(6月2日、参加者 20 名)
- 関連協会への新会館・関東支部のお披露目と懇親会(7月5日)
- 東京国際空港の拡張に伴う施設沈下の対策等の現場見学会(7月15日、参加者 40 名)
- 群馬県グループ会員との懇談会(8月9日、参加者 60 名)
- 千葉県グループ・基調講演「千葉県の基盤整備について」(9月15日、参加者 93 名)
- 第 8 回ジオシンセティック入門セミナー(9月21日、参加者 80 名)
- 第 25 回アター-5 談話会「維持・管理および更新のための計測・解析技術」(9月22日、参加者 52 名)
- 関東支部発足記念講演会(9月24日、参加者 50 名)
- 現位置試験講習会(10月8日、参加者 28 名)

【行事予定】

- 事業実施機関との技術交流会(第 1 回)「東京湾再生プロジェクト」: 10 月 19 日、JGS 会館
- 関連学会との交流会: 10 月 22 日、JGS 会館
- 第 26 回アター-5 談話会「水 - 粘土鉱物 - 有機・無機工業材料との相互作用に関わる話」: 10 月 28 日、JGS 会館
- 最新技術講習会「地盤に関する維持管理および茨城県内の最近の建設プロジェクト」: 10 月 29 日、水戸市
- 南アルプス林道の安全対策工事見学会: 11 月 5 日、山梨県南アルプス市芦安地区
- 第 27 回アター-5 談話会「最近の土木工事における計測技術と活用法」: 11 月 26 日、JGS 会館
- Fredlund 教授 講習会「不飽和土の理論と実務への適用(仮題)」: 11 月 30 日、JGS 会館
- 首都高速道路公団 川崎縦貫線大師ジャンクション(MMST 工法)の現場見学会: 12 月 10 日、川崎市
- 第 28 回アター-5 談話会「既設構造物直下の液状化対策」: 12 月 10 日、JGS 会館

編集後記

関東支部発足から 4 ヶ月が過ぎました。本紙を編集し、支部活動が活発になってきていることを実感しました。これからも会員の皆様、地域の皆様に満足いただけるサービスを提供していきたいと思っております。最後に今回ご執筆頂いた方々に感謝の意を述べ、編集後記とさせていただきます。(樋口佳意: 企画総務グループ幹事)

発行 社団法人 地盤工学会関東支部 〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号
 TEL03-3946-8670 FAX03-3946-8678 E-mail: jgskantou@jiban.or.jp URL: <http://www.jiban.or.jp/kantou/>